# 日本語学特論ＩＢ

選択　　2単位

中沢　紀子

1. 授業の概要（ねらい）
　授業では、各自が興味を持った言語事例（過去の日本語・現代日本語）について発表してもらう。

2. 授業の到達目標
　・テキストを言語資料として読むことによって、過去の日本語の姿および現代日本語に至るまでの歴史的変化を理解できる。

3. 成績評価の方法および基準
　発表（100%）

4. 教科書・参考文献
教科書
　授業ではプリントを配布する。

5. 準備学修の内容
　演習は、自分でテーマを考え、調査・分析する授業である。演習発表では、十分な準備が求められる。また、演習の予習・復習は必須である。
　演習で学んだ内容を自分のことばで説明できるようにすること。

6. その他履修上の注意事項
　学生の活発な質疑応答を重視しているため、演習参加者には相当の発表準備及び意見交換が要求される。意欲のない学生の場合、そもそもこの演習についていくことが難しい。演習参加者は十分な覚悟を持って受講してほしい。

7. 授業内容
【第1回】　ガイダンス
【第2回】　言語資料についての概説を行う。
【第3回】　発表と討論
【第4回】　発表と討論
【第5回】　発表と討論
【第6回】　発表と討論
【第7回】　発表と討論
【第8回】　発表と討論
【第9回】　発表と討論
【第10回】　発表と討論
【第11回】　発表と討論
【第12回】　発表と討論
【第13回】　発表と討論
【第14回】　発表と討論
【第15回】　まとめ（到達目標の確認を行う。）